

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名: Ambiデイ教室(仙北第二教室)

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0		
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	1	4	・構造上、難しい部分もある。	・現在、可能な限りの配慮はしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	3	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	・公開している。	継続実施。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	4	・第三者委員会を立ち上げていない。	・第三者委員会を検討。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・社内研修での学習機会や、外部研修への参加。	・研修内容を職員にフィードバックして、有効に活用していく。オンライン研修を活用している。
適切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0		継続すると共に、分析方法などを見直し修正を重ねていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	1		継続して活用する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	・第二教室内、リハ会議等で意見をもらい、プログラム立案をしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	・月1回程度、教室、各OT、STなどで会議を持ち、情報意見交換をしている。 ・利用児の意見を反映させておる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0		状況、環境のアセスメントを再度行い、個別最適な課題を見出し設定できるよう努めていく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
援 の 提 供	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0		それぞれの変化に応じ、より適切な支援となるよう修正していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・毎日、実施している。	継続して実施する。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	・生徒の利用時間の関係で、支援開始前に全ての打ち合わせを行う形をとっている。	その日の支援を振り返る時間を必ず確保する。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・時折、連絡帳の記載についての指導を受けながら、改善している。	・複数での確認を徹底している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0		継続して実施する。コロナ等の状況や保護者様の状況など総合的に見定め、適切な方法にて実施していく。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	0	0		継続して取り入れていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0		継続して出席する。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	・ヒヤリハット報告について共有を会議で行い、対応方法について学んでいる。	学校、保護者様との連携と信頼を保ちながら丁寧に対応していく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	1	・対象児なし。直接の関わりはないが、主治医等、医療機関へ連絡がある。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	0		継続して対応する。また、状況に応じてその当該事業所や園等へ訪問し連携を図る。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3		2	・対象児なし。	必要に応じて対応している。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	0		継続し、より一層連携を深めていく。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	3	・利用児童、保護者への配慮から設定せず。	保護者様や児童本人の様々な意向を踏まえ慎重に検討し対応していく。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	3		可能な限り参加していく。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・保護者に個別での報告書やアンケートを配布して、同意や疑問について聞いている。	継続して対応する。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	3		必要に応じて検討する。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0		継続して対応する。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0		継続して対応する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	4	・現在、父母会等実施なし。	状況や要望等総合的に検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0		継続して対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・定期的な会報等はないが、月のイベントを希望表に載せている。	・定期的な会報等できるよう検討。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0		継続して対応する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0		継続して対応する。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	3		実施予定なし。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0		年度初めおよび職員の異動時、マニュアル改定時の周知を徹底する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0		年間2回以上の実施を継続する。また、職員対象の訓練実施を検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0		毎年度1回以上の研修実施を継続する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	1	・記載している。	継続して対応する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	3	0	2	・情報を確認して、おやつ時にアレルギーのある食品を出さないようにしている。	指示書の有無によらず、アレルギーを訴える児童に対して、おやつ提供時など注意して対応する。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0		継続して、共有していく。	